

而二不二の神木 (室生)



パワースポットとして多くの方が訪れる室生龍穴神社周辺には、多くの巨樹が神社を守るように立っています。境内には連理の杉(夫婦杉)と呼ばれる二股の杉がありますが、神社から少し離れた場所にも二股の巨大な杉があります。「而二不二の神木」と呼ばれる約10メートルから上が2本の大きな幹に分かれた、樹高40メートル、幹周約8メートル、樹齢約900年の巨樹です。「而二不二」とは仏教用語で「二つにして、二つではない」という意味で、善・悪、生・死、明・暗など一見対立するものも、相対するものがないと成立しないことです。

神木と呼ばれるのに仏教用語が使われているのは室生寺との関係でしょうか。

▼境内にある連理の杉(夫婦杉)
夫婦和合、家庭円満などの信仰を集めています。



今日の
Pick Up

心をひとつに、大輪の花火

はいばらコロナ撲滅祈願花火大会



東榛原地区



伊那佐地区



榛原地区

「宇陀市はいばら花火大会」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため3年連続の中止となりました。しかし、開催予定日であった8月7日(日)、皆さんに少しでも笑顔を届けたいと、実行委員会が検討され榛原地域内4か所から、コロナ撲滅祈願として花火が打ち上がりました。午後8時、同時に上がった花火は5分ほどの短時間でしたが、同じ時間に空を見上げることで、皆の思いが一つになれたのではないのでしょうか。

